

2 September 2005
19:00 – 20:15

Mozarts kleine Kostbarkeiten

作曲者: Wolfgang Amadeus Mozart
指揮者: Uwe Christian Harrer
オーケストラ: Wiener Hofmusikkapelle/Vienna Court Music Ensemble
コーラス: (ウィーン少年合唱団)

Information

Offertorium "Alma Dei creatoris" K 277
Graduale "Sancta Maria, mater Dei" K 273
Offertorium "Inter natos mulierum" K 72
Sub tuum praesidium, K 198
Motette "Ave verum corpus", K 618

Die Wiener Hofmusikkapelle in Wien

作曲者: Joseph Haydn ヨゼフ・ハイドン
指揮者: Leopold Hager レオポルト・ハーガー
オーケストラ: Wiener Hofmusikkapelle ウィーン王室音楽アンサンブル
コーラス: Wiener Sängerknaben ウィーン少年合唱団
ソロ: Adolf Tomaschek, Franz Wimmer, Nikolaus Simbowsky 1992

Information

ミサ サンタ ベルナルディ テ デウム

3 September 2005
19:00 – 20:50

Neujahrskonzert 2002/New Year's Concert 2002

作曲者: Johann Strauss ヨハン・シュトラウス, Joseph Strauss ヨゼフ・シュトラウス, Johann Strauss (father), ヨゼフ・ヘルメスベルガー2世.
指揮者: 小澤 征爾
オーケストラ: Wiener Philharmoniker ウィーンフィルハーモニー室内楽団

Programme

Zivio, Carnevalsbotschafter, Die Schwätzerin, Künstlerleben, Beliebte Annen, Vorwärts!, Ouverture "Die Fledermaus", Arm in Arm, Die Libelle, Plappermäulchen, Perpetuum mobile, Danse diabolique, Wiener Blut, Tik-Tak, Im Fluge, An der schönen blauen Donau, Radetzky Marsch.

Information

このオーケストラは数多くの国際的なツアーを行っているため、世界的に有名です。
クレメンス クラウス、ウィリー ボスクフスキー、ヘルベルト フォン カラヤン、クラウディオ アバド、カルロス クライバー、リッカルド ムーティ、小澤征爾、ロリン・マゼールらの指揮によるウィーンフィルハーモニー オーケストラはクラシックコンサートでウイナーワルツ、ポルカ、マーチを一番初めに演奏しました。そして現在は毎年のようにミュージックフェレインの「黄金の間」で行われています。

プログラム

行進曲 乾杯、カーニバルの使者、ボルカマズルカ'おしゃべり女'、ワルツ'芸術家の生活'、アンネポルカ、ポルカ'前へ'、喜歌劇'こうもり'序曲、腕を組みながら、とんぼ、ポルカおしゃべりなかわいい口、常態曲、悪魔の踊り、ウィーン気質、チクタクポルカ、ポルカ大急ぎで、美しく青きドナウ、デラツキー行進曲

4 September 2005

19:00 – 20:25

Friedrich Gulda spielt Beethoven und Mozart/Friedrich Gulda Plays Beethoven and Mozart

作曲者: Ludwig van Beethoven, Wolfgang Amadeus Mozart

オーケストラ: Münchner Philharmoniker

ソロ: Friedrich Gulda

Programme

Ludwig van Beethoven:

Piano Concerto No. 5 in E flat major, op.73

Wolfgang Amadeus Mozart:

Fantasia D minor K 397

Sonata B flat major K 333

Sonata D major K 576

Information

グルダの洗練されたクラシックのレパートリーはソナタ K333 や K576、そして K397 (ファンタジア) を含むモーツァルトのプログラムを演奏することで明らかになります。

プログラム

ルートヴィヒ ヴァン ベートーベン:

ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品73「皇帝」

ヴォルフガング アマデウス モーツァルト:

幻想曲 二短調 K397

ピアノソナタ 変ロ長調 K333

ピアノソナタ 二長調 K576

5 September 2005

19:00 – 20:30

Don Giovanni (Act I)

作曲者: Wolfgang Amadeus Mozart

指揮者: Riccardo Muti

オーケストラ: Orchester der Wiener Staatsoper

コーラス: Chor der Wiener Staatsoper

ステージ指揮: Roberto de Simone

ソリスト: Carlos Álvarez, Franz-Josef Selig, Adrianne Pieczonka, Michael Schade, Anna Caterina Antonacci, Angelika Kirchschrager, Ildebrando d'Arcangelo, Lorenzo Regazzo

Information

ウィーンクラシック芸術週間での“コンラドット”の上演のあと、“ドン・ジョバンニ”の上演が続けられることで、モーツァルト-ダボンテサイクルがいきます。ドン・ジョバンニ”はリカルド・

ムーティの指揮により、理想的な場所、シアター・アン・デア・ウィーンで上演されました。

“ドン・ジョバンニ”は、人間の欲望と無意識の描写であり、また社会的、政治的な改革のきざしであり、愛と自己愛の象徴であり、現実と形而体験のあいだのゲームなのです。

6 September 2005

19:00 – 20:25

Don Giovanni (Act II)

作曲者: Wolfgang Amadeus Mozart

指揮者: Riccardo Muti

オーケストラ: Orchester der Wiener Staatsoper

コーラス: Chor der Wiener Staatsoper

ステージ指揮: Roberto de Simone

ソロ: Carlos Alvarez, Franz-Josef Selig, Adrianne Pieczonka, Michael Schade, Angelika Kirchschrager

Information

ウィーンクラシック芸術週間での“コンラドット”の上演のあと、“ドン・ジョバンニ”の上演が続けられることで、モーツァルト-ダボンテサイクルがいきます。

ドン・ジョバンニ”はリカルド・ムーティの指揮により、理想的な場所、シアター・アン・デア・ウィーンで上演されました。

“ドン・ジョバンニ”は、人間の欲望と無意識の描写であり、また社会的、政治的な改革のきざしであり、愛と自己愛の象徴であり、現実と形而体験のあいだのゲームなのです。

7 September 2005
19:15 – 20:35

Violin concerto No. 1 & Sinfonia Concertante for Violin,

Viola and Orchestra in E flat major, K. 346 & Symphony No. 31 "Paris"

作曲者: Wolfgang Amadeus Mozart
指揮者: Nikolaus Harnoncourt
オーケストラ: Wiener Philharmoniker
ソロ: Gidon Kremer, Kim Kashkashian

Information

バロックミュージックに何年も専念してきたあと、ニコラス・アーノンクールは1980年代のモーツァルトのオーケストラ作品を多く取り入れ始めました。アーノン・クールの音楽観は伝統的なモーツァルトの評価とは根本的に違っていました。彼にとっては、モーツァルトは“最もロマンティックな音楽家であり、アーノン・クールの音楽は“ドラマティックで、ダイナミックで、時に際立ち、とても感情的”です。“ギドン・クレーメル”と、アーノンクールは同じ観点を持ったパートナーでした。ドイツ系ラトビア人のバイオリンの巨匠はモーツァルトの音楽の中に自分自身のみちを見つけ出そうとしてきました。

8 September 2005
19:30 – 20:30

Requiem

作曲者: Wolfgang Amadeus Mozart
指揮者: Herbert von Karajan
オーケストラ: Wiener Philharmoniker
ソロ: Anna Tomowa-Sintow, Helga Müller-Molinari, Vinson Cole, Paata Burchladze
コーラス: Wiener Singverein
Courtesy Herbert von Karajan Centrum

Information

ヘルベルト・ボン・カラヤンは理想を達成する努力をし、“音の魔術師”という評判を得てきました。特に彼は晩年、音楽の美を高めるために技術を使用しました。彼の完璧主義さは彼のミュージックフィルムにもよく出ています。カラヤンはフィルムメイキングの様々な側面に携わり、細かい部分にも気がつかっています。彼の目標は永久的な芸術解釈を世界中に広げることでした。

9 September 2005
19:30 – 20:25

Symphony in B minor "Unfinished"

作曲家: Franz Schubert
指揮者: Josef Krips
オーケストラ: Wiener Philharmoniker

Symphony No. 2

作曲家: Franz Schubert/フランツ・シューベルト
指揮者: Christoph Eberle
オーケストラ: Camerata Bregenz

Information

このプログラムはシューベルトの代表作である、交響曲第2番と“未完成交響曲”を演奏致します。

10 September 2005
19:15 – 20:35

Wolfgang Amadeus Mozart: Violin Concerto No. 2 and No. 3
Franz Schubert: Symphony No. 4

Information

バロックミュージックに何年も専念してきたあと、ニコラス・アーノンクールは1980年代のモーツァルトのオーケストラ作品を多く取り入れ始めました。アーノン・クールの音楽観は伝統的なモーツァルトの評価とは根本的に違っていました。彼にとっては、モーツァルトは“最もロマンティックな音楽家であり、アーノン・クールの音楽は“ドラマティックで、ダイナミックで、時に際立ち、とても感情的”です。“ギドン・クレーメル”では、アーノンクールは同じ観点を持ったパートナーに会えました。ドイツ系ラトビア人、バイオリンの巨匠はモーツァルトの音楽の中に自分自身のみちを見つけ出そうとしてきました。そしてシューベルトの交響曲代4番、のちにこの曲の題名を“悲劇”としました。

11 September 2005
19:15 – 20:30

Mozart's Little Treasures

作曲者: Wolfgang Amadeus Mozart
指揮者: Uwe Christian Harrer
オーケストラ: Wiener Hofmusikkapelle/Vienna Court Music Ensemble
コーラス: (ウィーン少年合唱団)

Information

Offertorium "Alma Dei creatoris" K 277
Graduale "Sancta Maria, mater Dei" K 273
Offertorium "Inter natos mulierum" K 72
Sub tuum praesidium, K 198
Motette "Ave verum corpus", K 618

Die Wiener Hofmusikkapelle in Wien

作曲者: Joseph Haydn ヨゼフ・ハイドン
指揮者: Leopold Hager レオポルト・ハーガー
オーケストラ: Wiener Hofmusikkapelle ウィーン王室音楽アンサンブル
コーラス: Wiener Sängerknaben ウィーン少年合唱団
ソロ: Adolf Tomaschek, Franz Wimmer, Nikolaus Simbowsky 1992

Information

ミサ サンタ ベルナルディ テ デウム

12 September 2005
19:00 – 20:25

Friedrich Gulda Plays Beethoven and Mozart

作曲家: Ludwig van Beethoven, Wolfgang Amadeus Mozart
オーケストラ: Münchner Philharmoniker
ソロ: Friedrich Gulda

Programm

Ludwig van Beethoven:
Piano Concerto No. 5 in E flat major, op.73
Wolfgang Amadeus Mozart:
Fantasia D minor K 397
Sonata B flat major K 333
Sonata D major K 576

Information

グルダのクラシックレパートリー達成度はモーツァルトの作品である、ソナタK333、K576、K397(ファンタジア)を演奏により明らかになります。

13 September 2005
19:30 – 20:30

A Night in Vienna

作曲家: Strauss Family, Joseph Lanner
指揮者: Alfred Eschwé, David Charles Abell
オーケストラ: Wiener Akademie
ソロ: Lesley Garrett

Information

"ウィーンの夕べ"では19世紀のウィーンの舞踏会の美しい雰囲気再現します。ウィーンのホーフブルグ王宮時代の素晴らしいウイーンアカデミーオーケストラがシュトラウスとジョゼフラーナーの好んだ"美しき青きドナウ"や"トリッシュトラッシュボルカ"や"ラデツキー行進曲"を含んだ曲目を演奏します。かつて、ハブスブルグの支配者たちの官邸、ホーフブルグは、フランツヨーゼフ皇帝と、エリザベス女帝の家でもありました。主演のソリストはイギリスで最も有名なオペラ歌手、レスリーガレットでした。シュトラウスの時代の精神は実際のワルツダンサーによって描かれます。"ウィーンの夕べ"は伝統的な衣装を着て踊ることが特徴で、美しい背景があなたをウィーンへと連れて行ってくれるでしょう。